

令和4年度燕市環境審議会

令和4年度燕市環境審議会 記録簿			
日時	令和5年3月24日（金） 10:30～12:00	場所	燕市役所 301会議室
出席者 （敬称略）	<p>■環境審議会委員：出席 10名 佐藤委員（会長）、秦委員（副会長）、細川委員、横山委員、吉原委員、 田邊委員、酒井委員、熊谷委員、渡邊委員、村上委員</p> <p>■事務局：6名 市民生活部：前山部長 生活環境課：清水課長、坂本課長補佐、市川係長、石川主任、関口主事</p>		
配付資料	<p>・令和4年度燕市環境審議会 次第</p> <p>議題1 「第2次燕市環境基本計画」の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1-1】総括表 ・【資料1-2】燕市環境基本計画環境指標達成状況 <p>議題2 今年度の取り組みと来年度以降の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料2】事業報告 <p>議題3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料3】第3次環境基本計画策定スケジュール（案） 		

議事次第等	<p>開会</p> <p>1. 市長あいさつ</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 「第2次燕市環境基本計画」の進捗状況について</p> <p>(2) 今年度の取り組みと来年度以降の取り組みについて</p> <p>(3) その他</p> <p>閉会</p>
番号	議事内容(主な意見)
1	<p>開会</p> <p><u>1. 市長あいさつ</u></p> <p>鈴木市長からのあいさつがありました。</p>
2	<p><u>2. 会長あいさつ</u></p> <p>佐藤会長よりあいさつがありました。</p>

3. 議題

(1)「第2次燕市環境基本計画」の進捗状況について

- ・事務局より【資料1-1】及び【資料1-2】を用いて説明を行いました。

(2) 今年度の取り組みと来年度以降の取り組みについて

- ・事務局より【資料2】を用いて説明を行いました。

(3) その他

- ・事務局より第3次環境基本計画の策定について【資料3】を用いて説明を行いました。

～議題(1)、(2)についての質疑応答・意見～

○紙資源のリサイクル率について

【委員】

リサイクル率算出の基礎となる紙資源量が減少傾向にある中で、値となる紙の使用量の把握が必要ではないか？

【事務局】

現行の環境基本計画の目標値は、基準年を基にした対比で指標を設定しています。社会情勢などで、指標とする数値が変わることが明らかなものについては、令和5年度に作成に着手する次期環境基本計画では、前年度の数値を活かせる目標値の設定を検討します。

【委員】

高齢になると、リサイクルのための分別が億劫になってくる場合もある。

【事務局】

紙ごみは2週間に1度の収集であり、重くなるので負担になることは理解できます。しかしながら、集積場所近くにするために数を増やすといったことは難しいため、リサイクルの啓発をよりわかりやすい形で市民の皆様にお伝えしていくことが重要と考えています。

【委員】

昨年度の審議会にて、紙資源の回収は市では、チラシが混じっていると回収できないため、業者の回収に紙資源が流れているのではないかという話があったが、目標指標の数値にこうした事業者の回収分を含めることはできるのか？

【事務局】

資源回収に回ってくる業者がどこの地域から来てどこの地域を回っているのかわからない場合が多く、把握することが難しい現状です。市としては、市の行っている集積体制を利用していただくように啓発していきたいと考えています。

【委員】

アンケートなどで事業者の回収に出している方にどのくらい出しているのかといった集計を取れるのではないかと？

【事務局】

事業者が回収している大まかな数量を把握することは重要と考えています。市民、事業者のどちらにアンケートを取る方が良いのかといった検討は必要となりますが、数量把握方法について工夫していきたいと思います。

○資源回収業者について

【委員】

紙資源以外に、農機具やドラム缶などの収集にも業者が回ってくるが、そのような業者は、免許や許可などが必要か？

【事務局】

市の方で把握している限りの業者に関しては、古物商の免許で業を行っています。古物商として行う場合には、有価物の売買としての買取等の行為が発生します。しかしながら、実際には、無償で引き取りを行っている場合が多い様子です。業者としては、本来有価物として買い取るものを引取費との相殺で無償としているという考えで行っています。法的には、無償での引き取りは廃棄物収集となるところですが、買取費と引取費の相殺による有価物回収として行っているものです。

○粗大ごみ量の増加について

【委員】

家を継ぐ者がいないといった理由から早いうちに断捨離をするという家庭が多いように思われる。この先粗大ごみの量はますます増えていくのではないかとと思う。

【事務局】

断捨離のテレビ番組があるように断捨離が身近なものとなっています。令和5年度の新たな取り組みとして MONO2 リユース事業を行ない、先のことを考えてまだ使えるものを整理しておくといったことで処分される家財等について、新たな利用者への橋渡しの場を設けるよう計画しています。

○MONO2 リユース事業について

【委員】

フリーマーケットや譲渡会の場合、開催日にその会場に持っていかなければならないため、利用できる人が限られる。写真等で確認してやりとりできるような方法も検討してはどうか？

【事務局】

現場にブースを設けてやりとりするよりも、写真等でやり取りする方が市民の方も利用しやすいといったことも考えられるため、写真等を使った方法についても検討を進めたい。

【委員】

「ジモティー」というサイトでは、個人間で不要物を無償でやり取りができる。個人情報情報を明かしたくない場合は、公共の場所で品物の引き渡しをするといったこともできる。「ジモティー」と似たような形で、燕市が間に入るといった方法も参考にしてはどうか？

【事務局】

今回新規で始める事業であるため、実施した内容について令和5年の審議会でも報告させていただきます。その中で、課題等について委員の皆さまからアドバイス等いただきながら改善させていきたいと考えています。

○指定ごみ袋のレジ袋化事業について

【委員】

非常に良い取り組みと感じている。取扱い店舗数も増えており、市の方で努力されたのではないかと？

【事務局】

始めるにあたり、指定ごみ袋に購入した商品を入れるということをためらう方がいるのではないかと意見もあり、昨年10月から試験的に開始しました。協力店舗に聞き取ると、エコバックを忘れられた際に利用者が一定数いると伺っています。今後は、指定ごみ袋のデザインが変われば取扱いを行いたいという店舗の声が多ければデザイン変更も考えます。

【委員】

今回、審議会で初めてこの事業を知った。とても良い事業だと思うので協力店舗の拡大を引き続き進めていただきたい。

【事務局】

再度、大手の食品スーパー等へ取り組みのお願いに回り取扱店舗を広めていきたいと考えています。

【委員】

何度か、指定ごみ袋をレジ袋として使用させてもらっている。通常のレジ袋より強度があるため使い勝手が良いと感じている。しかしながら、レジ脇に置いてあり自ら取れる店舗とレジで「指定ごみ袋にしてください」と言わないと出してもらえない店舗がある。「指定ごみ袋」と言葉にしてお願いするのに若干抵抗を感じるがあるので、名称を考えるなど「指定ごみ袋」とお願いしなくてもよい方法など検討いただきたい。

【事務局】

名称の検討のほか、指差しなど言葉にしなくとも指定ごみ袋を選択できる方法があることより良いと考えられるので選びやすいような工夫を考えていきたいと思えます。店舗に取扱いのお願いに伺った際の意見として、限られたレジ周りのスペースの中で袋の数が増えるという点を懸念される店舗が多くありました。取組み開始からしばらくたち事業も浸透してきていることから協力店舗と相談させていただき、市民の方が使いやすいやり方に変更するようなアイデアを出していきたいと思えます。

閉会

市民生活部長からの閉会のあいさつがありました。

以上